

## 1992～1993の厳冬季に新潟県沿岸へ漂着したカマイルカなどの記録（要旨）

本間義治<sup>1)</sup>・箕輪一博<sup>2)</sup>・中村幸弘<sup>3)</sup>・青柳 彰<sup>4)</sup>

<sup>1)</sup> 新潟大学理学部 〒950-21 新潟市五十嵐2-8050

<sup>2)</sup> 柏崎市立博物館 〒945 柏崎市緑町8-35

<sup>3)</sup> 上越市立水族博物館 〒942 上越市西本町4-19-27

<sup>4)</sup> 寺泊町立水族博物館 〒940-25 新潟県三島郡寺泊町花立

### Stranding records of Pacific white sided dolphins and other cetaceans on the coast of Niigata District, Sea of Japan, during severe winter conditions, 1992–1993 ( Abstract )

Yoshiharu Honma<sup>1)</sup>, Kazuhiro Minowa<sup>2)</sup>, Yukihiro Nakamura<sup>3)</sup> and Akira Aoyagi<sup>4)</sup>

<sup>1)</sup> Faculty of Science, Niigata University, Niigata, 950–21 Japan

<sup>2)</sup> Kashiwazaki Municipal Museum, Akasakayama Park, Kashiwazaki, 945 Japan

<sup>3)</sup> Johetsu Municipal Aquarium, Nishihoncho, Johetu, 942 Japan  
and

<sup>4)</sup> Teradomari Town Aquarium, Teradomari, Santou-gun, Niigata Pref., 940–25 Japan

本論文の詳細は、すでに日仏海洋学会で講演発表し（本間・箕輪・中村・青柳，1993a）、原著は日本生物地理学会会報へ投稿済みなので（本間・箕輪・中村・青柳，1993b）、本誌へは要旨を掲載するとどめる。なお、一部は地学団体研究会総会のシンポジウムに招かれた際にも、講演した（本間，1994）。

1992年12月末から1993年3月初めにかけて、新潟県の上越と中越の海岸へ集中的にカマイルカ15頭を初めとする鯨類18頭や、稚アカウミガメ6頭、珊瑚礁魚類のチャイロマルハタ1尾などの漂着が相次いだ。当時は、対馬暖流が平行型で流れて勢力が強く、北西の季節風が吹き荒れ、波高も著しく高かった。そこで、漂着の原因を探るため、当時の気象と海況との関係で解析してみた。

その結果、驚異的で未曾有の高波により、小型鯨類に呼吸不全・呼吸障害がもたらされたと推察され、これにより肺に海水が入り、肺水腫様症状を起こすなどして、溺死や斃死した個体が、卓越風に応じて発生した吹送流によって浜辺へ打ち上げられたものと考えられる。今回は、佐渡島と下越の海岸へ漂着

しなかったことに、興味もたれる。

Stranding Records を通知し、会員諸氏の利用に供するため、これら小型鯨類の漂着記録を表示し（表1）、漂着地（図1）、漂着個体数と風速および波高との関係（図2）を示してみた。

#### 引用文献

本間義治. 1994. 新潟～佐渡海域における海産哺乳類の記録. 地団研専報, 43:155-165.

本間義治・箕輪一博・中村幸弘・青柳 彰. 1993a. 1992～1993年の厳冬季に新潟県沿岸へカマイルカなど続々と漂着. 日仏海洋学会学術研究発表会. 1993年5月31日（東京）.

本間義治・箕輪一博・中村幸弘・青柳 彰. 1993b. 1992～1993年の厳冬季に新潟県沿岸へ漂着したカマイルカなどの記録. 日本生物地理学会会報, 48:81-86.

表1. 1992～1993年の厳冬季に新潟県沿岸へ漂着した小型鯨類の記録

#	動物名	発見年月日	発見場所	性	体測定値など
1	カマイルカ	1992年12月28日	出雲崎落水（埋める）	♂	1.95m
2	カマイルカ	1993年 1月22日	上越市直江津（歯跡）	♂	2m, 131kg
3	カマイルカ	1993年 1月22日	能生町筒石川内（埋める）	?	2m, 70kg
4	カマイルカ	1993年 1月28日	柏崎市稚谷漁港内	♂	1.81m
5	カマイルカ	1993年 1月28日	柏崎市稚谷	♀	1.73m
6	カマイルカ	1993年 1月28日	柏崎市松波	♂	1.88m
7	カマイルカ	1993年 1月29日	柏崎市松波	♂	1.82m
8	カマイルカ	1993年 1月29日	柏崎市米山（行方不明）	?	1.7-1.8m
9	カマイルカ	1993年 1月29日	西山町浜忠（川の下流）	♂	1.94m
10	カマイルカ	1993年 1月30日	西山町石地漁港内	♀	1.65m
11	カマイルカ	1993年 1月30日	柏崎市松波	♀	1.89m
12	カマイルカ	1993年 1月31日	寺泊町大河津分水路河口	♂	1.97m
13	カマイルカ	1993年 2月 4日	柏崎市荒浜（海へ投棄）	♀	1.8m
14	カマイルカ	1993年 2月 6日	柏崎市東の輪（刺網絡む）	♂	1.72m + $\alpha$
15	イシイルカ	1993年 2月10日	柿崎町直海	♂	1.5m
16	カマイルカ	1993年 2月11日	柿崎町新町（行方不明）	?	1.7m
17	マイルカ	1993年 2月18日	能生町藤崎	♀	2.24m, 99.3kg
18	オオギハクジラ	1993年 3月 2日	能生町徳合（国立科博へ）	♀	4.8m

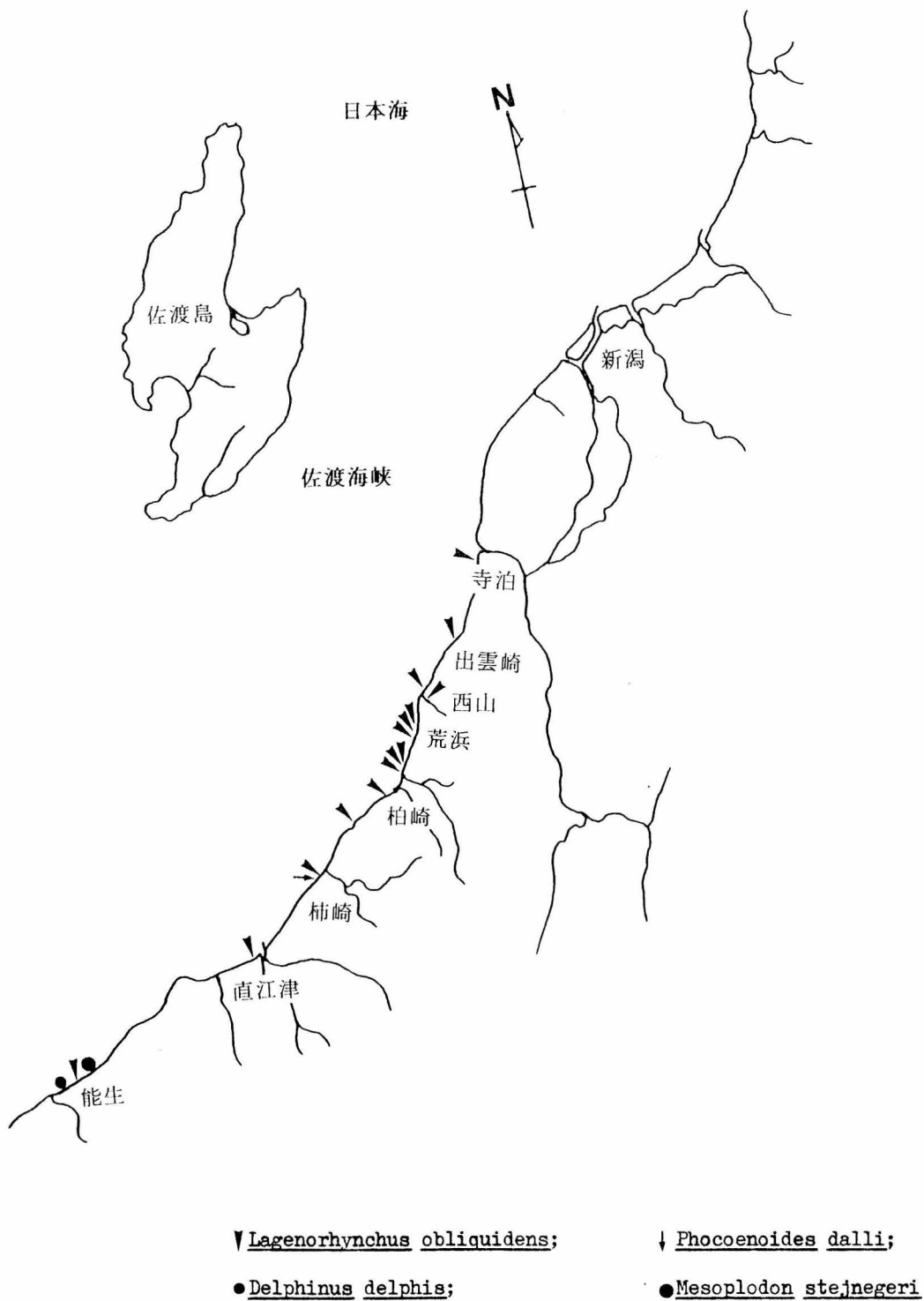
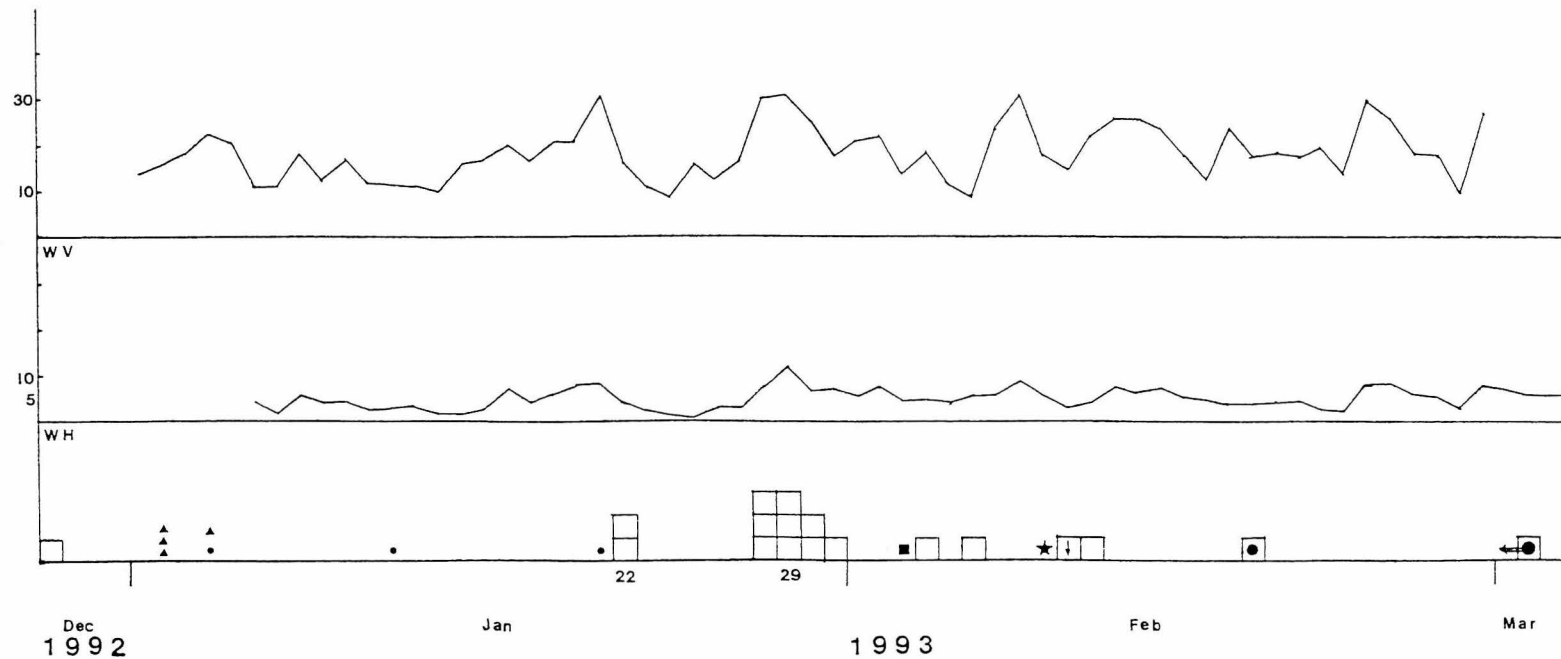


図1 1992～1993年の厳冬季に新潟県沿岸へ漂着したカマイルカなど小型鯨類の発見地



- Legenorhynchus obliquidens;      ▣ Phocoenoides dalli;      ● Delphinus delphis;
- Mesoplodon stejnegeri;      ■ Epinephelus malabaricus;
- young Caretta caretta;      ▲ Thysanoteuthis rhombus;
- ★ Cetorhinus maximus caught by gill net.

図2 最大風速(WV)と最高波高(WH)との関連で解析した. 1992~1993年の厳冬季に新潟県沿岸へ漂着したカマイルカなどの日別記録